

いいまち 議会だより

2022年7月15日

第99号

発行：長野県飯島町議会



特集 P.3

第3回 臨時会

定例会を超える

熱い議論



議会HPはこちらから
YouTubeでも配信中

写真／議会広報委員会
6月18日 ご縁食堂（本郷公民館）

2022年度 各委員会年間計画

総務産業委員会

委員会方針

コロナ禍による町の経済的影響を各方面から取り上げて飯島町を元気に町民の命と暮らしを守る。

行動指針

- 1) 町民の声を聞き、幅広い分野に携わって活動をしていく。
- 2) 所管部署の年間活動計画の把握と協議を実施していく。

年間計画

- ・所管係長レベルとの協議会及び現場視察の開催
- ・zoom (WEB会議)を年間1回以上開催
- ・BCP業務継続計画の(町・議会)の読み合わせ確認
- ・コロナ禍での経営調査懇談会開催(商工会・農業経営者会議)
- ・先進地視察の実施(バイオマス発電とメガファーム関係)

社会文教委員会

委員会方針

教育・福祉を研究し住みよい飯島町に
～明るい未来を子供達へ～

行動指針

- 1) 教育・福祉の現場を把握し、住民生活福祉の向上を目指す。
- 2) 担当課・民生児童委員・教育委員とも連携し、課題に取り組む。

年間計画

- ・ICT化の現状視察の実施
- ・給食センター職員・栄養士含めた懇談会
- ・民生委員と懇談会(9月予定)
- ・先進地への視察研修(2月予定)

議会運営委員会

委員会方針

町民に分かりやすい議会の実現及び効率化を図る

行動指針・年間計画

- 1) 議場・控え室内での国旗・町旗の掲揚の検討
 - ・他市町村の状況調査、視察など行い結論を出す。
- 2) 定例会における特別委員会方式のあり方検討
- 3) 住民懇談会の開催
 - ・コロナ禍でもあることを考慮し、工夫して実施する。
- 4) 定例会傍聴者の増加策
 - ・増加策は議運委員会で発信は広報委員会で行う。

議会広報委員会

委員会方針

幅広い年代へわかりやすい情報発信を
～議会のさらなる見える化ツールとして～

行動指針

- 1) 町民と議会をつなぐ役割の充実
 - ・より関心を持ってもらえる紙面づくりを心がける。
 - ・議会を身近に。議会だけではなく、議員一人ひとりの声を届ける媒体にする。
 - ・発信媒体の研究、考案を行う。
- 2) 見やすくわかりやすい内容に
 - ・多くの人にわかりやすく、読みやすい内容づくりを行う。
 - ・写真やイラストを活用し見ていただけるきっかけづくりを。

年間計画

- | | |
|-----|--|
| 4月 | 議会だより98号発行、特別号(100号)企画 |
| 7月 | 議会だより99号発行、特別号(100号)企画 |
| 10月 | 議会だより100号発行 |
| 1月 | 議会だより101号発行 |
| 年間 | 議会ホームページ・WEBの活用 モニターアンケートの更新 オンライン会議の実施、広報研修会の実施 |

議員定数報酬等検討小委員会

委員会方針

町・議員将来像を明確化させ議会活性化を

行動指針

- 1) 議員の活動を知っていただくための活動
 - ・時間、活動を周知するための情報収集と整理
 - ・町民理解のための情報発信(広報と連携)
- 2) 知見を広め、わか町に照らし合わせる活動
 - ・先進地事例の調査、情報収集(現地視察・オンライン情報収集)
 - ・有識者との懇談による情報交換・収集活動
- 3) 報告書策定に向けた方向付け
 - ・調査内容のまとめ
 - ・委員会としての方向性を明確化

年間計画

- | | |
|------|--------------|
| 年間 | 毎月1～2回開催 |
| 5月 | 先進地視察(オンライン) |
| 6月 | 有識者懇談会 |
| 7月 | 先進地視察(県内中心) |
| 年内 | 全国町村議長会懇談 |
| 12月 | 中間報告書提出 |
| 1・2月 | 報告書ブラッシュアップ |
| 3月 | 第2次中間報告書提出 |

第3回臨時議会は、5月25日に開催。条例2件・補正予算1件が審議された。審議後に補正予算に関する決議書を採決した。

補正予算の質疑をする際、議長から飯島町議会会議規則に「質疑は、同一議員が3回を超えることはできない。ただし、特に議長の許可を得たときは、この限りではない。」と規定されている。慎重な審議が必要と判断し、3回を超える質疑を許可する旨の通告があった。そのため、採決をするまでの4時間に亘り、熱い議論を行った。

飯島町一般職及び特別職の職員等の給与に関する2条例の改正令和3年度の人事院勧告に基づいた改正。期末手当の減額。

全会一致で可決

補正予算

一般会計（第1号）

2億4145万円の増額

営業力向上事業支援補助金・くらし復興券発行事業（第4弾・第5弾）など。

質疑

（詳細は、HP）

くらし復興券

問 町長からは、商工会に準備を進めてもらっていると説明があったが、事業を実施するためには議会で決議がされてから執行するという「事前議決の原則」がある。このルールを守ってないのでは。

町長 準備を依頼したのは、くらし復興券を出す予定があるため、チラシなど対策を立てること。復興券と同時に効果が出るような宣伝を事前に計画するこ

と。数字の関わることは話していない。

問 第5弾を今回の補正予算に含める必要があったのか。販売事業者の偏りなどの課題が解決されていない中で行うのか。

答 本来は、1回の復興券で、お盆と年末年始を利用できるように考えていたが、有効期限が5か月のため2回に分けた。

問 復興券以外の制度の検討は。

答 町民のメリットが多いことから本事業を行っていく。

営業力向上支援補助

問 1事業者30万円の根拠は。また、予算を超えて申請があった場合にはどうするのか。

産業振興課長 広告会社に掲載する場合の金額を目安にしている。予算を超えた場合には、補正をする。

問 芸術活動をされている人や農業関係者には適さないと考えるが。

産業振興課長 復興券に合わせて取り組んでもらいたい。

町長 まずは、くらし復興券に関わることから取り組みたい。

討論・採決

賛成

- ・経済活動の支援を2度にわたって行う方針に賛成。
- ・厳しい状況のため、早急な実施と、今後の効果検証をして改善することに賛成。
- ・第4弾の効果検証をし、第5弾に活かしていくことに賛成。

反対

- ・くらし復興券が現状の経済対策に最適か疑問。
- ・第5弾まで一括可決することに反対。
- ・現金の直接交付を含めた暮らしの支援を再検討すべき。
- ・第5弾は、福祉や教育など多方面への検討が必要。
- ・営業力向上補助金の内容では、持続可能性の検証が難しいため再検討すべき。
- ・営業力向上補助金は、農業者に対して効果が薄い。

採決 賛成6人 不賛成5人

補正予算に関する決議書

町に対して、くらし復興券第4弾の事業終了後、効果検証を速やかに行うこと。第5弾の発売前に議会に対して報告及び事業内容の修正など協議を行うことを強く要望する。

全会一致で決定

補正予算修正案を議論

6月定例会は6月3日から15日までの13日間開催し、条例改正8件(専決2件含む)・令和3年度補正予算専決4件・令和4年度一般会計補正(第2号)・道路線認定の14件が上程された。令和4年補正予算の修正案が出されたが、賛成少数で否決した。陳情7件(2件は文書配布)が提出され審査した。一般会計補正予算(第3号)・意見書4件が追加され、可決した。

条例改正

8件を承認または可決

・税条例、国保税条例などの一部改正(専決)

関係法令の改正による

・国保税減免特例条例、介護保険条例の減免特例改正

新型コロナで収入が減少した被保健者の減免期間延長

・公園条例の一部改正

ロッジと千人塚休憩所を追加

・町営住宅・グリーンリーフ・グリーンハート管理条例の一部改正

「暴力団」を「暴力団員等」に

令和3年度補正予算(専決)

事業確定による

補正予算4件を承認

- ・一般会計(第14号)
- ・国保特別会計(第5号)
- ・後期高齢特別会計(第4号)
- ・介護保険特別会計(第4号)

|主|な|質|疑|

問 補装具の減額はなにか。

答 電動車いすの納期遅れ。

問 情報器機管理費が1000万円以上の減額だが要因は。

答 ソフトを、委託料から使用料に。

令和4年度補正

・一般会計(第2号)

予算特別委員会に審査を付託。

賛成多数をもって、本会議最終日に報告された。本補正に対する修正案が提出された。

修正案の内容

トレーラーハウスの寝室にエアコン設置・デッキ改修費の減額を提案。

|討|論|

原案賛成

- ・必要なものだ。ただ管理棟も早期に一般利用可能にすべき。
- ・単価は不明で、見積で抑えることもできる。
- ・エアコンは必要だ。

修正案賛成

- ・過剰投資だ。
- ・最小限にすべきだ。

|採|決|

修正案 起立少数で否決

原案 起立多数で可決

請願陳情 詳細はP5

- ・水田活用直接交付金見直し
全会一致で採択
- ・インボイスの農業者措置を
全会一致で採択
- ・ミャンマー民主化回復を
賛成多数で採択
- ・水田活用直接交付金見直しの中止を
全会一致で採択
- ・小人数学級と教育費負担堅持を
全会一致で採択

・女性トイレの維持及び安全安心を(文書配布)

・海の日固定化を(文書配布)

意見書

・インボイスの農業、農村における影響緩和措置を

全会一致で可決

・ミャンマーにおける民主化の早期回復を

賛成多数で可決

・水田活用の直接支払交付金の見直しをやめ、経営強化を

全会一致で可決

・少人数学級と国庫負担堅持拡大を

全会一致で可決

追加議案

・移動図書館車の売買契約

|主|な|質|疑|

問 なぜAT車ではないのか。

答 年度内納期に間に合わせるには、MT車しかなかった。

|討|論|

賛成 トレーラーハウスにより先送りされた事業、早期実現を。

全会一致で可決

・一般会計補正予算(第3号)

国の低所得子育て世帯特別給付金事業の予算計上

5万円を対象91人に給付

全会一致で可決

トレーラーハウスにエアコンは必要か

予算特別委員会は総務産業・社会文教の2つの分科会を設けて、各所管事務の審査を求めた。分科会主査報告に対する質疑の後、理事者への総括質疑・討論を行った。その結果、付託された議案すべて可決すべきものと決定した。

総務産業主査報告 に対する質疑

問 トレーラーハウスが設置されている場所は、標高が高い。エアコンは必要性の質疑はあったか。

答 設置したうえで、使用するかしないかは、利用者を選択にしようとのこと。

問 トレーラーハウスはいつから5台利用可能になるか。

答 管理棟用の予算が確保できから。なお、管理棟に空き家を利用する考えはないとのこと。

問 トレーラーハウスを設置した経緯に関する説明はあったか。

答 説明はなかった。

社会文教分科会主査 に対する質疑

問 子宮頸がんワクチン。副作用の説明はあったか。

答 説明はなかった。町の方針としては、ワクチン接種をするよう積極的に促すことはしない。

情報を提供したうえで、個人の判断に任せるという立場とのこと。

問 感染症予防事業は、コロナワクチンを指すのか。

答 当該事業コードは予防接種と風疹を指すものであり、コロナワクチンではない。

理事者に対する総括質疑

問 トレーラーハウスは、スタート当初「心を癒す・企業向け」ではなかったか。今回の補正は、方向性がずれてきているのではないか。

答 トレーラーハウスについては、当初からワーケーションをうたってきた。方向性はずれていない。

問 当初からワーケーション目的であれば、ウッドデッキ・間仕切りの問題は想定できたのでは。

答 当初は標準形で作ってみたいと分からない部分があった。ウッドデッキ・間仕切りについ

ては、標準形で作った後に、ニーズがあることが分かったため、変更となった。また、ワーケーションとは、主に休暇が目的であり、メインは農業体験・リフレッシュである。宿泊利用者からの意見で変更を行うことはあり得る。

問 寝室エアコン設置、お試し住宅では要望があったか。

答 根本的に目的が違う。お金をもらう以上快適に過ごしてもらう設備は必要。

問 そもそもエアコンは必要なのか。

答 都会暮らしの方は窓あけ就寝することに慣れていない。有料で利用するために設備は整えておく必要がある。

問 エアコン設置、1台10万円は高額では。

答 取り外し可能な仕様で施工するため、通常より金額が上がってしまう。

討論

反対 トレーラーハウス以外が良い。5台のうち1台に管理棟が設置され、管理棟を移す時期も財源も確定していない。今後、更なる税金投入が必要となることは必至であり、容認できない。

賛成 事業成功には、時の流れの中で改変を行っていくことが必要。事業目的の一つは癒しである。成功に向けて努力してもらいたい。

設置イメージ



【実施時期】
補正予算成立後、早急に実施
(エアコンの設置を最優先とする。)



トレーラーハウスの改装を議論

令和4年度一般会計
補正予算(第2号)

主な質疑

総務課

問 防犯カメラ設置の内容は。

答 町長室・会議室に設置する。会議室は常時録画・町長室はリモコンで録画、一定期間保管。

問 プライバシーと背中合わせの問題。責任者やデータ管理の規定はあるか。

答 要綱など確認する。

産業振興課

問 「特産品開発支援事業30万円」は具体的には。

答 ジャムなど商品開発支援。

問 広報はしているのか。

答 毎年はしていない。

建設水道課

問 豊岡住宅の取り壊しは。

答 取り壊しは3棟。

問 陣馬住宅遊具、子育て支援のため、撤去後新設すべき。

答 新設の予定はない。1世帯に子どもがいる。老朽化で、入

居の斡旋はしていない。

地域創造課

問 トレーラーハウスの寝室にエアコン追加の必要性は。窓を開けて対応可能だが。

答 あくまでも補助的なもの。

問 寝室とリビングの仕切り設置は利便性を考えてほしい。

答 構造や配置を含め検討している。

問 ウッドデッキ通路の拡張。リビング側も広げれば、利用者の利便性も高まるが。

答 リビング側の拡張はトレーラーハウスの移動を妨げるため設置できない。



トレーラーハウス

問 住宅取得補助のPRは。

答 町内向けに説明会、都市部向けにはホームページなど周知

を予定している。

問 現在のリフォーム補助金は町内事業者への支援が目的であったが、今回の事業は個人資産の形成を支援する目的に見える。整合的な説明ができるか。

答 現在の補助金は下水道の繋ぎこみなど、建設業者への支援。新設の新築・リフォーム補助金は、従来とは異なるため要綱を別にし例規を作成する。

問 材木の供給不足が懸念され、利用が停滞するのでは。

答 ウッドショックで2割高、いつ安くなるかは不明。一方、建築・リフォーム需要はある。このような時にこそ活用されるよう広報していく。

問 協働のまちづくり推進費の負担金補助金は。

答 新田自治会ではコピー機購入など110万円。

石曽根自治会では屋根改修に13万円。

北河原自治会では防災テントなどを購入200万円。

学校給食センター清掃費増額

令和4年度一般会計
補正予算(第2号)

主な質疑

健康福祉課

問 子宮頸がん予防接種の対象人数などは。

答 対象者は約300人。希望者

に定期接種の予診票を送り、無料で受けられる。

高校3年生までに、自費で受けた人は補助金で対応する。

問 通信運搬費は風しん未接種者へのクーポン券発送か。

答 令和4年からさらに3年間延長で、600名にクーポン券を送り直す。

問 過去にかかった人の対応は。

答 抗体検査を受けてほしい。

教育委員会

問 ママサポート事業内容は。

答 妊娠中や出産後の家事手伝いなど、1日2回2時間まで。

問 事業予算は。

答 3人分を見込み補正。

問 学校給食センター清掃費の増額要因は。

答 清掃に時間がかかり、職員の負担軽減につなげたい。

問 エアーカーテンは各入口にあるのか。

答 食品搬入口には設置している。

問 害虫駆除はどのようにするのか。

答 食材搬入口など外部からの

侵入なので、虫の集まりやすい場所などのモニタリングをし、駆除を行う。



給食センターエアーカーテン装置

総務産業委員会

陳情審査

採択すべきもの

水田活用の直接支払交付金見直しへの対応を求める

参考人 J A 上伊那常務理事
白鳥健一氏ほか2人

趣旨採択 麦・そば・大豆に公金を出すことにも、強い要望書を出すべきだ。

採択 意見書にするときには変更も良いとの事なので採択。

採決結果

趣旨採択に賛成1人 不賛成4人
採択に賛成4人 不賛成1人

採択すべきもの

インボイス制度（適格請求書等保存方式）の農業・農村におけ

る影響を緩和する措置を求める

参考人 同上

賛成

- ・地域の産業を守る立場で賛成。
- ・小さな農家を守るために賛成。

反対

- ・農業だけを優遇するべきではない。

採決結果 賛成4人 不賛成1人

採択すべきもの

ミャンマーにおける軍事クーデターを非難し民主的な政治体制の早期回復を求める

参考人 上伊那地区労働組合会議
北原和雄氏

賛成

- ・国際ルール、人権は守られるべきである。

採決結果 賛成5人 不賛成0人

採択すべきもの

水田活用の直接支払交付金の見直しを中止し、すべての農家経営への支援策強化を求める

参考人 上伊那農民組合
代表 竹上一彦氏

賛成

- ・現場を知らない国の政策。1次産業を守り、経営が成り立つ補償を行うべきだ。
- ・畑を水田に戻すと水持ちが悪くなり、4～5回の代掻きが必要。水路復旧にも経費が掛かる。見直しを中止すべきであり、自給率向上に必要。

採決結果 賛成5人 不賛成0人

社会文教委員会

請願

採択すべきもの

さらなる少人数学級推進と教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める

参考人 長野県教職員組合飯島

町単組 代表 田畑英二氏

反対

- ・飯島中学校はすでに34人。現状と合わないため反対。

賛成

- ・教育費を減らすことは将来を背負う子供たちのためにもよ

くない。教員も減らすことがないように。

- ・自治体単位ではなく、全国的な問題。国庫負担率を3分の1から2分の1に戻すことに賛成。

採決結果 賛成4 不賛成1

公開します〔6月定例会 審議議案と議員の賛否〕

| 上程議案・概要・結果 賛成：○ 不賛成：× | 結 果 | 浜 田 稔 | 久 保 島 巖 | 片 桐 剛 | 吉 川 順 平 | 坂 本 紀 子 | 星 野 晃 伸 | 三 浦 寿 美 子 | 堀 内 学 | 坂 井 活 広 | 伊 藤 秀 明 | 宮 脇 寛 行 | 折 山 誠 | 参 照 ペ ー ジ |
|--|--------|-------------|------------------|-------------|------------------|------------------|------------------|-----------------------|-------------|------------------|------------------|------------------|-------------|-----------------------|
| 条例の一部改正 | | | | | | | | | | | | | | 注 |
| 税条例等・国保条例 2件(専決処分承認) 地方税法・同施行令・同省令の改正に伴う | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 4 |
| 国保税減免条例・介護保険条例 2件 条例の適用期間を令和5年3月末まで1年延長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 4 |
| 公園条例 千人塚のロッジと休憩施設を加え、使用料全体も見直す | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 4 |
| 町営住宅管理条例 3件 条例中の「暴力団員」を「暴力団員等」に改める | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 4 |
| 令和3年度 補正予算 | | | | | | | | | | | | | | |
| 令和3年度一般会計(第14号専決)▲2857万円 事業費の実績見込み・繰越明許費・地方債を補正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 4 |
| 令和3年度国民健康保険特会(第5号専決)▲3195万円 事業費の実績見込みに伴う | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 4 |
| 令和3年度後期高齢者医療特会(第4号専決)44万円 事業費の実績見込みに伴う | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 4 |
| 令和3年度介護保険特会(第3号専決)233万円 事業費の実績見込みに伴う | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 4 |
| 令和4年度 補正予算 | | | | | | | | | | | | | | |
| 令和4年度一般会計(第2号)8074万円 マイホーム取得補助・トレーラーハウス工事など | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 4~7 |
| 令和4年度一般会計(第2号)修正案 ▲65万円 トレーラーハウス工事減額 | × | ○ | × | × | × | ○ | × | ○ | × | × | × | × | ○ | 4~7 |
| 令和4年度一般会計(第3号)484万円 低所得子育て世帯支援の特別給付金 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 4~7 |
| 契約の締結など | | | | | | | | | | | | | | |
| 町道路線の認定 1路線の認定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 4 |
| 移動図書館車売買契約(2098万円) 株式会社 林田製作所(埼玉県) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 4 |
| 請願・陳情 | | | | | | | | | | | | | | |
| 水田活用の直接支払い交付金見直しに関する 見直し実施にあたり更なる農業振興策を | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 4・7 |
| インボイス制度の農業・農村への緩和措置を求める 農業関係者への要件緩和を求める | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 4・7 |
| ミャンマーの軍事クーデターを非難し民主制回復を 国は積極的な働きかけを | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | 4・7 |
| 「水田活用直接支払い交付金」見直し中止を求める 見直しを行わず農家経営の安定を図ること | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 4・7 |
| 少人数学級推進と義務教育国庫負担の拡充を 更なる少人数学級推進と国庫負担制度の拡充を | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 4・7 |
| 意見書 | | | | | | | | | | | | | | |
| インボイス制度の農業・農村への緩和措置を求める 農業関係者への要件緩和を求める | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 4 |
| ミャンマーの軍事クーデターを非難し民主制回復を 国は積極的な働きかけを | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | 4 |
| 「水田活用直接支払い交付金」見直し中止を求める 見直しを行わず農家経営の安定を図ること | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 4 |
| 少人数学級推進と義務教育国庫負担の拡充を 更なる少人数学級推進と国庫負担制度の拡充を | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 4 |
| 第3回 臨時会 | | | | | | | | | | | | | | |
| 一般職・特別職の職員等の給与に関する2条例改正 人事院勧告に基づく減額改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 3 |
| 令和4年度一般会計(第1号) 2億4145万円 くらし復興券・営業力向上支援 など | ○ | × | ○ | ○ | × | × | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | 3 |
| 補正予算第1号に対する決議 第4弾終了後、議会に報告・協議を求める | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 3 |

(注) 議長は議事進行のため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ「議長裁決」で表明。

4月19日

片桐教育長就任あいさつ

飯島の子ども達の姿に願いを込める。

- ・自己肯定感を高めること
- ・自ら考え行動し自立すること

飯島町国土強靱化地域計画

令和4年3月に一部改定。

- ・物資、エネルギー供給停止に対する集積・移送拠点整備、溜池の水位計設置など。

新型コロナワクチン接種

3回目接種 12歳以上58%済み。5月末で集団接種終了。以降は個別接種。

大規模盛土造成地地下水推移観測結果(久根平工業団地)

豪雨による一時的な水位上昇があったが、安全性に問題はないとの結論。

第2期水道ビジョン

前ビジョン策定から10年経過し、令和4年～13年のビジョンを策定。

基本理念は①安全でおいしい水。②災害に強い水道。③健全経営が持続できる水道。

問 広域化は第1次ビジョンに記述されていたか。

答 無かった。

問 水道事業の民営化に町民から懸念の声がある。「民間の事業参入ではなく町が独自に運営する」と明記されているか。

答 明記はない。

マイホーム取得補助金の基準日変更(3月議会で予算可決されたが、その後町民要望などを受けて交付要綱を変更した)

議決時：令和4年4月1日以降

に申請し補助金交付決定を受けてから住宅の建築・売買契約。

変更後：法務局への登記申請が4月1日以降であれば補助金の対象になる(以前に建築や売買契約が終了していても可)。

個人資産形成の一部で多額の支援なので公的機関への登記日を基準とした。今回は特別。

問 補助金の申請者や問い合わせは。

答 申請者15件、書類持ち帰り5人、他にも問い合わせあり。

問 これまでの補助金(50万円)の交付要綱はどうなるのか。

答 当初の要綱に従う。

問 町の補助は申請前着手を認めていなかったと思うが、実績報告段階で申請することに問題は無いのか。

答 事前着手も政令や要綱で定めれば違法ではない。

中央道工事ネットフェンス鋼線垂れ下がり事故

物損に留まったが重大事故の可能性もあった。事業者の安全対策を確認し、工事を再開する。

その他の質問

問 町内で新型コロナ感染者が1日に5人発生したことがあった。もし家族内感染だったら生活に支障があったかもしれない。状況を把握していたか。

答 町内感染者に関する情報は、保健所から一切伝えられていない。

5月19日

一般職・特別職の給与等の改定

人事院勧告に従い期末手当を減額。

4回目接種方針(国からの事務連絡待ち)

・7月からの見込みで準備する。

くらし復興券事業説明

令和4年度の非課税世帯にも支給

今回の特徴：2千円分は業種限定券(飲食・宿泊観光・交通)

問 前回の効果と課題の検証は活かされたのか。

答 新たな需要があったかの調査・検証はしていない。

問 暮らし復興券発行に要する経費は。

答 総額2億3300万円のうち手数料など約1300万円。

営業力向上事業支援補助金30万円上限

問 営業力向上事業の目的は。

答 営業力推進に力を入れ、これまで実現できなかったデリバリーなどに活用してほしい。

問 対象用途・規模は。

答 PCなど汎用性が認められるものは不可。30件を想定。

住宅リフォーム補助金

「飯島でマイフォーム」200万円のリフォーム補助金を追加。申請後リフォームを行ったものが対象。

飯島小学校給食配膳室追加工事
旧学校給食センター解体工事
移動図書館車更新

6月15日

水道水の供給に関する基本協定締結調印式(6月24日)

令和4年7月1日に緊急分水協定を廃止し、新協定に移行する。100立米/日から800立米/日に増やす計画。

問 町の水道料金への影響は。

答 不確定の要素が多い。今後検討。

町政を問う

11議員が質問

「一般質問」とは行財政にわたる議員主導による政策の議論です。(通告順)

久保島 巖 **東京事務所**
どんな効果を期待するか P10

吉川 順平 **レディースファーム**
本質的な目的は P11

星野 晃伸 **アフターコロナ**
会席の復活を P11

伊藤 秀明 **ゼロカーボンシティ**
宣言はいつか P12

宮脇 寛行 **iiネイチャー春日平**
利用者の反応は P12

坂本 紀子 **給食野菜洗浄**
オゾン水利用を P13

片桐 剛 **町が描く「街の将来像」**
土地利用のビジョンが不明確 P13

堀内 学 **消防団の活動費**
交付金の増額を求める P14

坂井 活広 **職員の有給休暇**
取得向上に対する取り組みは P14

三浦 寿美子 **子どもの貧困対策**
計画策定を P15

浜田 稔 **コロナ禍**
死者が増加しているのでは P15



◀◀ 詳しい内容・議会の様子は、議会ホームページよりご覧いただけます。



東京事務所

どんな効果を期待するか

久保島 巖

職員が築いた良い関係が財産 町長

問 本年4月から、県東京事務所に職員を派遣したが、どのような効果を期待しているか。

町長 一番は職員が築いた良い関係が財産となる。これが、町の為になり、交流人口につながる。そして企業誘致ができるという長期展望の中で効果が出る。

問 人事は誰が決めるか。

副町長 人事案は私がつくり、町長が決定する。

シェアオフィス 案内所設置を

問 ワークेशन・シェアオフィスが、町内に点在しており、案内や情報収集できるセンター的なものが必要だが。

町長 今の時点では効率が悪いと考える。将来の課題だ。

DX推進を明確に

問 DX推進が「秘書広報係」では、町民に分かりにくい。「DX

推進係」とすべきでは。

副町長 町の規模では専用とはいかないが、1人増やしている。上伊那広域で進めるものが多いと思う。準備は進めている。

問 LINEWORKS(ラインワークス)と繋がりができている。職員のコミュニケーションツールとしても有効だが、検討はしたか。

副町長 自治体のシステムはセキュリティが重要だ。その辺が不明である。国の進めるDXは全国統一で同じ様式が一番簡単でうまくいくと思う。



おいて行かない心配



レディースファーム

本質的な目的は

根底にある目的は人口増である 町長

問 レディースファームの本質的な目的は何か。個人育成かグループ育成か。

町長 仕事と子育ての両立できることを望んでいる。育成は時期尚早であり、事業を経営するには、商品力と販売が重要。現在、根幹の組み立ての研究中。

問 農場の施設化が不可欠だが、推進と補助金は。

産業振興課長 ICT活用や自動化による大規模施設の支援については、要望に応えられるよう考えている。

食料品と資材の高騰

問 輸入価格上昇による食料品及び農業資材高騰に対する国の対策・情報はるか。また、町の対策は。

町長 国では、資金調達に対して実質無利子・無担保・セーフティーネット資金貸付限度額の特例で対応している。

町独自では影響を受ける農業者などへの負担軽減の支援を検討している。



ウーマンメイク株式会社
代表取締役社長 平山亜美
(大分県国東市)

6連棟ハウス 80a 水耕栽培
品目/リーフレタス、ホウレンソウ
従業員/18名(役員3名、パート15名)

▶その他の質問

- ・「めしの島」飯島として米粉の製造と商品開発の提案と推進
- ・農・商・工連携事業の進め方
- ・学校給食への地元産食材利用の推進体制のその後は

6月定例会では議員11名が登壇し町政を質しました。



アフターコロナ

会席の復活を

デリバリーで努力を 町長

問 アフターコロナで飲食店の思いの一番は、会席が戻ることだが、町はどう考えるか。

町長 お店にお客さんが戻って欲しいが、現状では店へ行くのに勇気が要る。デリバリーなどで企業努力をして欲しい。

問 レベル5で流れる町内放送は町民の恐怖感をあおっている。県のマニュアルなのか。

総務課長 町で考えて放送している。

問 ぐらし復興券の販売告知はどのようにするのか。

産業振興課長 折込みチラシなどで広報をしていく。



問 新メニュー開発や情報交流会などに支援はあるか。

産業振興課長 営業力向上支援補助金で対応。詳しくは産業振興課まで相談して欲しい。

柏木グラウンド

問 国体後の整備計画をどのように考えているか。

教育長 多目的運動施設を想定。

部活の今後は

問 中学校の休日の部活動はどう変わるのか。

教育長 段階的に地域に移行し、平日指導は教職員、土日祝祭日を地域指導で実施。本年から飯島中がモデル校で、クラブ活動が出来る環境づくりを一番に考え、研究していく。

問 青少年のクラブに支援はあるのか。

教育長 施設使用料金は免除している。今後、補助金などは県・国に要望していく。

▶その他の質問 ・企業誘致策



ゼロカーボンシティ 宣言はいつか

伊藤 秀明

今年度早い時期に 町長

問 40の都道府県と534の自治体が宣言している。

町はゼロカーボンシティ宣言をしないのか。

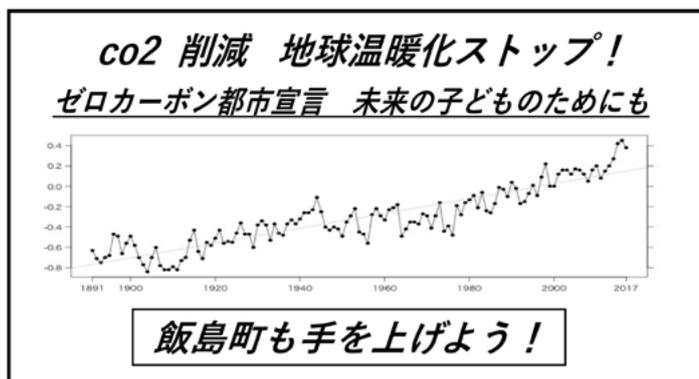
町長 あらゆる資源を生かし、再

生可能エネルギーを最大限に導入していくことが不可欠である。

住民税務課長 町内の温室効果ガス排出状況の検証をした。

2050年のゼロカーボンが十分に
見込まれる結果であった。

今年度の
できるだけ
早い時期に
宣言したい
と考えてい
る。



避難所運営

問 災害時、ペット連れ避難をためらう人もいる。町のガイドラインはあるか。

総務課長 避難所へペットと共に避難は可能である。ただし、避難所には様々な人が生活するため、一定のルールが必要になる。

避難所運営マニュアルに、ペットに関する内容も盛り込まれている。例えば、居住部分にはペットの持ち込み禁止。飼育・飼育場所の掃除は飼い主が全責任を負って管理するなどのルールを設けることが必要だ。

- ▶その他の質問
- ・飯小「見守り桜」保存を



◀◀ 詳しい内容・議会の様子は、議会ホームページよりご覧いただけます。



iiネイチャー春日平 利用者の反応は

宮脇 寛行

快適に体験できたとのこと 町長

問 ワークेशन事業がスタートして1か月が経過した。利用者の反応はどうか。看板は目立たないが。

地域創造課長 試し期間を含め114人の宿泊となった。「施設が充実して快適に過ごせた」「実際に体験し良さが分かった」などの意見を基に農業体験・設備などの見直しや充実を図り、サービス向上に努める。

看板は設置をしたばかり。利用者の意見を参考にしたい。

問 予約状況はどうか。目標達成はできるか。

地域創造課長 お盆の近くは満室。現状34泊予約があり、計画達成を見込んでいる。

問 トレーラーハウス1台が管理棟となっており、本来の目的とは違う。早期に戻すべきだが。

地域創造課長 事業が軌道に乗り、収益やスタッフを確保できる見込みが立ったら管理棟の設置を行う。



わかりづらい案内看板

基幹産業の農業支援

問 政府は「水田活用の直接支払交付金」の見直しを検討しているが、町はどのようにとらえているか。

町長 地域農業の衰退が懸念される誠に遺憾な内容であり、地域と連携して農業振興上の適切な処置を取るよう働きかけている。

- ▶その他の質問
- ・町ホームページの改善を
- ・地籍調査委託の課題

教育次長 現在の学校給食衛生管理基準に示されていない。基準が変更されれば対応する。

樹木の適切管理を

問 町所有樹木の管理が場当たりのである。樹木医と長期計画を立て、適切な管理と美しい景観を守ることを求めるが。

総務課長 公共施設の樹木管理はそれぞれが行っている。倒壊などの危険がある時は、樹木医などに相談しながら対応している。

一括の管理は難しい。景観計画の基準を参考にしていきたい。

▶その他の質問

- ・コロナ禍の園児・児童の影響は

給食野菜洗浄

オゾン水利用を

管理基準にない 教育長



坂本 紀子

問 保育園学校給食の葉物野菜の取り扱いは。

教育次長 学校給食は、根や芯を取り、葉を一枚ずつはがして3層シンクで流水洗浄後、加熱



生食用洗浄の様子
(次亜塩素酸ナトリウム溶液)

調理し生食はない。

保育園は、トマトなど加熱調理しない野菜は専用のタライで3回洗い、次亜塩素酸ナトリウム100ppm希釈液に10分つけ、流水で15分以上すすいでから配食する。

問 食品工場・ホテル・病院・生鮮食品店などオゾン殺菌が主流である。オゾン発生器は比較的安価で、取り扱いが簡単で維持費も少ない。給食でのオゾン水洗浄を求めるが。

6月定例会では議員11名が登壇し町政を質しました。

町が描く「街の将来像」

土地利用のビジョンが不明確

説明不足の部分もある 町長



片桐 剛

問 町では様々な計画の下、各課で事業を実施している。最上位計画として第6次総合計画、その下に土地利用計画や公共施設等総合管理計画、人口ビジョンなどがある。

計画遂行には町民との情報共有が必須。計画の進捗と住民理解への働きかけは。

企画政策課長 土地利用区分ごとに、5年ごと経過をまとめている。引き続き実施・進捗管理を行う。住民理解と一体的に進める必要性は認識している。

問 令和3年策定、第4次飯島町国土利用計画策定時のゾーニング※の根拠や経緯は。

企画政策課長 土地利用構想図・ゾーニングの策定は地区懇談会等を実施し、第6次総合計画と同時に見直しを進めてきた。

問 さらに人口減少を背景に、利便性を担保する必要がある。コンパクトシティー化計画はあるか。

建設水道課長 現在のところ当町に計画はない。

問 国土利用計画にも密接に関

係をしてくる道路の整備。

歩道間の接続が悪い箇所が多数あるが。

建設水道課長 通学路を含めた歩行者の通行状況を見ながら、基準に沿って歩道の整備を行っている。



あるべき横断歩道
(役場西広域農道交差点)

▶その他の質問

- ・町民理解への取り組みは
- ・計画間の連携、整合性は

※ゾーニング = 空間を用途別にわけて配置すること。



消防団の活動費

交付金の増額を求める

活動に支障がないよう精査 町長

問 各分団では、団員報酬の一部又は全部を部会計に含め、消耗品の購入原資にしている実態がある。

団員1人当たり年間3300円の分団運営交付金では不足しているため、増額を求めるが。

総務課長 今後、報酬を個人払いへ変更する。分団における活動費の実態を確認し、支障がないよう十分に精査する。

問 消防団活動は、同世代でコミュニケーションをとれる重要な場である。総会や慰労会にも町の負担を求めるが。

副町長 総会や慰労会でのコミュニケーションは大事である。幹部会等で検討をしたい。

消防団車両の運用

問 平成29年3月に普通自動車免許の種類が改正がされた。各分団に配備されている車両を運転できない団員が現在の29人から増加すると予想される。今後の運用方針は。

総務課長 消防団車両の更新時期は20年である。常備消防が充実している現状を踏まえ、小型化やオートマチック車への更新など最適化を目指す。現在、具体的な計画はない。



町の安全・安心のために

問 現状の車両を運転できるように免許の取得補助を求めるが。

総務課長 検討過程ではあるが、車両の更新を優先する。

- ▶その他の質問
- ・ 発電機の盗難後の対策
 - ・ ii ネイチャー春日平



◀◀ 詳しい内容・議会の様子は、議会ホームページよりご覧いただけます。



職員の有給休暇

取得向上に対する取り組みは

事務事業の改善に努める 町長

問 令和2年度の飯島町役場職員の平均有給取得率は、16%であった。令和3年度は。

総務課長 有給取得率は20%。取得日数は7.8日。

問 総務省調査によると、取得日数の全国平均は10日。飯島町は7.8日。取得率向上の取り組みは。

総務課長 計画的取得ができるよう、事務事業の改善に努める。

誤振込み対応

問 先日、阿武町職員が臨時給付金計4630万円を誤振込みし、振込みを受けた相手が、全額使い切るといった事件が起きた。

飯島町には過去に誤振込みしてしまった事例はあるか、その時はどう対応したのか。

会計管理者 事例はあった。誤振込み先に謝罪し、返金頂き、再発防止のため、事務処理方法を見直した。

問 報告書は残っているか。

会計管理者 報告書は残っていないが、訂正された伝票が記録として残っている。

伝票を正しく処理することが重要だと考える。

問 使い切られてしまう可能性もあるので、今後は仮差押えも検討すべきではないか。

副町長 システムを作る必要はある。検討する。



学校給食費の負担軽減を

問 文科省から、「コロナ禍での原油価格・物価高騰等総合緊急対策の活用」で、学校給食費の保護者負担軽減に取り組むよう要請文書が出ている。

速やかに制度を活用し、保護者負担軽減に対応すべきだが。

教育長 臨時交付金には限りがある。用途を慎重に検討しなければならない。

8年間給食費を改定せずきたが、10%の値上げ改定で他市町村と同程度になった。今後の物価の動きも見据えて、検討したい。

子どもの貧困対策 計画策定を



三浦 寿美子

第3期子育て支援事業計画で 教育長

問 伊那市が「子どもの未来応援計画」を策定した。

子どもの貧困対策の推進に関する法律に基づいた、令和4年度からの3か年計画である。

「子どもの貧困対策に関する計画」策定の予定は。

教育長 町には令和2年度から6年度までの「第2期飯島町子ども・子育て支援事業計画」があり、各種の子育て支援をおこなっている。第3期の計画に盛り込む。

障がい者等の 窓口無料化を

問 経済的負担軽減には、福祉医療費窓口無料化は有効である。全国32都道府県で実施している。県に要請を。

町長 子どもの窓口無料化も時間がかかったが、大勢の意見で実現した。声を上げる事が大事。折に触れ意見を言う。

6月定例会では議員11名が登壇し町政を質しました。

コロナ禍

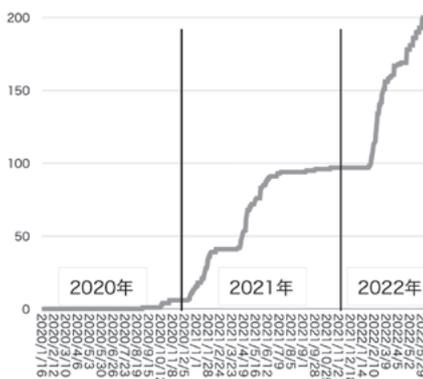
死者が増加しているのでは



浜田 稔

死因がコロナだけか不明 町長

問 県内死者の過半数は第6波による。オミクロン株は無症状・軽症という点だけで、安全面を強調して良いのか。



県内の累計死者数
過半数はオミクロン株

町長 国や県の見解を伝えただけ。ウイルスが検出されれば全てコロナを死因とする厚労省発表への異論もある。完全にコロナだけが死因かは、まだ不明だと感じている。

広域連合の負担金軽減を

問 ごみの4割は生ごみで、その大半は水分のため、焼却炉のエネルギー負担となる。飯島町は生ごみ比率が低いはず。ゴミ処理費用負担率の軽減を求めるべきでは。

企画政策課長 県内他の地域広域連合に比べて上伊那は比較的公平だ。しかし、より適正な査定方法を考える視点は必要だ。

問 情報センターの負担割合の根拠もよくわからない。一般的に処理データ量が大きいと、コンピューターの負荷は急激に増えることが知られている。

人口比で負担するのは不公平ではないか。

企画政策課長 負担割合は使っているシステム（地図・公会計・下水道など）毎に個別に算定する。コンピューターの負荷率は算定に入っていない。今後研究したい。

▶その他の質問

・町民の所得と格差は改善に向かっているか

議会の予定

自治会懇談会開催へ

議会はコロナ禍により、住民との意見交流ができていないことから、全自治会との懇談会を計画しています。議員を2人ずつの6グループに分け、それぞれの自治会へ訪問し、町政・議会に対するご意見などをお聞きします。

30～60分程度を想定し、開催日時は全自治会のご都合に合わせてみます。

今後、日程調整を行います。

議会だより次回100号に

議会だよりは平成10年4月創刊号発行以来25年で、次回10月発行で100号を迎えます。

特集を組む計画ですが、皆様のご意見ご感想を議会広報委員会までお寄せください。



創刊号

追跡
あれ
どうなった

一般質問・審査での意見 請願陳情その後のゆくえ

●押印廃止はいつから実施か
(令和3年3月定例会一般質問)
→令和4年4月から一部を除き実施。

●飯島保育園駐車場拡張を
(令和2年12月定例会一般質問)
→令和4年度 増設設計を予算計上し、次年度工事予定。

●役場庁舎トイレにオストメイトを
(令和2年9月定例会一般質問)
→令和3年3月工事完了。1階の障がい者トイレにオストメイト設置。男女トイレにシャワートイレを設置。



●移動図書館車の更新を
(令和2年9月社会文教分科会)
→令和5年3月納車予定。発注したが特殊車両の為納期に日数を要する。

●補聴器購入補助を
(令和2年3月定例会一般質問)
→令和4年から1人2万円補助。

●コロナ対策にもれた事業者支援を
(令和4年3月定例会一般質問)
→令和4年5月臨時会で営業力向上補助金30万円以内を決定。

●消防団女性団員勧誘を
(令和4年3月定例会一般質問)
→本部以外の分団に初の女性団員誕生。

●給食センターに正規職員を
(令和3年12月定例会一般質問)
→令和4年4月正規職員1名配置。

広域議会報告

伊南行政組合議会 5月24日 令和4年度 第2回定例会

- ・ 議会運営副委員長に宮脇(飯島町)議員を選出
- ・ 副議長に天野(宮田村)議員選出
- ・ 令和4年度一般会計補正(第1号)専決 全会一致で承認
職員手当など47万円減額
- ・ 病院事業会計補正(第1号)専決 全会一致で承認
職員手当など4819万円減額
- ・ 条例改正4件(うち1件は専決)の承認及び可決

上伊那広域連合議会 6月2日 5月定例会

- ・ 公平委員の選任同意
新任 宮脇文子氏(伊那市)

◆表紙

- ・伝統の祭り、イベントなど、コロナ禍で制限されて残念です。
- ・御柱の山出し祭の表紙としては全体の表情に勢いがなく残念です。
- ・コロナ禍の中、7年に1度の御柱にいどむ役員の意気込みが伝わる表紙でよかった。
- ・中央の園児の表情と、真剣な面持ちの大人との対比がおもしろいですね。
- ・今年のは1枚!!って程、素晴らしい表紙でした。
- ・あまりよくないです。

◆特集ページ「令和4年度予算徹底解剖」

- ・アンケートの結果として統計した形の掲載の方が把握できるのではと思います。
- ・マス切で各課題と予算額が記されていてわかりやすかった。
- ・アンケート回答者はどういう方でしょうか？根拠？対象者をはっきりした方が、どういう立場、考えで発しているのかわかりやすいかも。
- ・文字数の制限もあるので意図のよくわからない回答もある印象です。
- ・町民の意見が実際に載っていると、町民の声が届いていると実感できる。
- ・このアンケートはいつ、誰を対象に実施されたんでしたっけ？

◆特集ページ「議員の注目事業これいち」

- ・レイアウトもよく、各議員さんも簡潔で良いと思います。
- ・議員が注目していることは町民も気になっていることで、いくらの予算で決裁されて効果の期待も記されていてよかった。
- ・重要、必要、期待、もう少し具体的に書いた方が各議員の考えが伝わると思います。
- ・町民の代表である議員さんに、さらに分析していただけたところも理解しやすくありがたい。
- ・地域創造課の事業に対する注目度が高いようですね。

◆定例会

- ・押印等の見直しで簡潔化は良かった。なりすましが無いよう注意してほしいです。
- ・文字も大きくなり写真その他の配置も工夫されているように思う。
- ・議会のやり取りがわかるのは良いのですが、町の答えについても一歩踏み込んだ質問が必要かと思えます。検討の期限は？
- ・いつまでもずるずると決断しない行政にきちんとした発言をした方がいいと思います。
- ・議員の「欠」とはどういう意味ですか？審議に参加したくない？不参加の為欠？
- ・田切の里、食品加工室での今後の活躍に期待している。

◆一般質問

- ・テーマをつかむことは、議員さん大変ご苦労さま。
- ・議員さんの顔写真も、ジェスチャー(手をあげたりなど)もありインパクトがあって大変良いと思います。
- ・各議員の顔写真も大きく、写真・図なども大きくのせられていたのでよかった。
- ・ワクチンについての情報を町民に公開したほうが良い。選択できない町長ならば不安にならない様、町がアピールすべきです。
- ・産業振興課長「データはない」「調べますか」とか「聞き取りをします」などの回答はないのか？行政の責任積極性を引き出すような議論をしてください。

◆報告・予定

- ・「任期一年を終えて」各議員さんの一年を終える、その今の気持ちを約20字前後でまとめたのは、町民に大変良く伝わったことと思います。
- ・今までのせられていなかった、議会の予定や議員の1年を終えての反省、次年への思いがのってよかった。
- ・「任期を1年終えて」新人の議員さん方は初めての1年間でずっと大変だったと思います。まずはお疲れさまでした。多くの議員さんの感想に、町民の声を集めたい、反映したいという言葉がありますが具体的にはどのようにして議員さんに声を届けらるのでしょうか？

◆モニター・町民の声

- ・QRコードの作成は良いですね。まとめたり、掲載が大変だろうな。
- ・PTAさんを通じて、ランドセルのこと制服のことはさすが子供さんの目線での意見だと痛感させられました。
- ・委員長とPTAのやりとりだったのですが、ここに登場する委員長は誰を指しているのでしょうか？
- ・様々な意見があっただけでなく、賛同したり、とても興味深いコーナーです。
- ・「町民の声を議会へ」は、子育て世代は、興味深い内容でした。普段から町への要望はあっても発言する機会や勇気がない人もいます。
- ・議員さんから足を運び、話を聞いてくださることは、町民の声が行政へ届く良い機会です、今後も議員さんとの距離を縮めるためにも行ってもらいたいです。
- ・意見の反映を!!

◆全体の印象

- ・町政の方向性や地方行政の内容がわかりやすく伝わってくる議会便利になってきたと思います。
- ・全体的には、以前より字も大きく写真や図、イラストもごちゃごちゃせずスッキリした感じになってよくなっていると思います。
- ・議会メンバーが刷新され、全体的に若返った印象がそこそこ！私たちの意見や希望が反映される議会にしてください。

◆特集について(ご意見・今後取り上げてほしい内容など)

- ・テーマを一つにしぼっての、例えば今回は定住促進事業、人口減少等、意見を取り上げてほしいと思います。
- ・高齢化が進み空いた家を町で管理するにあたり、町では空いた家をどのように再利用しようとしているのか。それに対する町民の意見。
- ・今まで特集した事業のフォローアップ特集はいかがでしょうか。
- ・町の危機管理体制、防災、減災など、町に防災士もないとのことだが。

◆今後へのご意見、要望(議会のここが気になる、ここの情報が知りたいなど)

- ・今回の「町民の声を議会へ」も町内3校のPTA懇談も新鮮な気持ちで読ませていただきました。今後も町民が参加しているとして携わっていることをどんどん取り上げてほしいと思います。
- ・日頃勢いのある若者の声も素晴らしいと感じていますが、高齢者もこの町に長く生活している分の経験として知恵があると思うのです。
- ・町の事業等がわからないので町に対する議会の取り組みがよくわかりません。
- ・P12表の欠の意味を知りたいと思います。



第99号に対するご意見や、町へのご要望は…

左のQRコードを読み込んでいただくとアンケートの画面になりますので町民の皆様の声をお聞かせください。

町民の声を 議会へ

このページは町民の皆様取材協力をお願いして、町政や議会への意見や感想を掲載しています。今回は「ご縁食堂」を運営する飯島町社協の担当者に登場いただきました。

飯島町社会福祉協議会「ご縁食堂」

飯島町社会福祉協議会（以下社協）事業は、個人・団体ボランティアの皆さんに支えられています。「ご縁食堂」は、高齢者や障がいを持つ方ばかりでなく、広くみんなから必要とされる事業をと考え、始めました。

厚生労働省の「地域共生社会」の実現への取り組みや県の「信州こどもカフェ」の設置の推進も後押ししてくれました。

それまでの社協は、高齢者や障がい者を対象とした事業がほとんどでしたが、そこに子どもたちを巻き込んだ事業を展開していこうという考え方に合っていました。

令和2年度から「ご縁食堂」は月1回地域の公民館を会場として、子どもから高齢者まで障がいの有無に関わらず、生活に困窮している方までどなたでも一緒に交流できる場所としました。

ボランティアの協力により地域の食材を使ったり、郷土料理と一緒に食したり、交流する機会を作りたい。また、より多くの方とご縁を結んでもらいたいという思いから始まりました。

コロナ禍でもできることをと、調理指導の方が気持ちを込めて立てた献立を、直接顔を見てお渡



6月のハンバーグ弁当

しする配食や配達で続けています。

6月の調理指導をしていただいた北林瑞穂さんは、社協給食サーピスを行っていた頃からボランティアをしていただいています。ご縁食堂への気持ちを『給食サービスの配達のボランティアをしていて、配達をしたときに早い時間から待ってくれることやちょっとした声掛けが嬉しかった。その時の顔が忘れられず、ご縁食堂もお手伝いしている』とおっしゃいました。今回のハンバーグ弁当も副菜まで心をこめてメニューや味付けを考えてくださいました。

今回スタッフ分も含め66食作りました。

まだ、大勢が集って食事をするのは難しいのですが、8月のご縁食堂は夏休みに子どもさんから

高齢の方、様々な人と地域で何かしたい人が集まっていける場となるよう、食事のお渡し時間の前に物作りや遊びのコーナーを設けたと思います。

調理や配達のボランティアの方にはコロナ禍でも支えていただいています。これからは、物作りや遊びを教えていただけるボランティアさんにも加わっていただき、飯島町の地域社会が活性化していく一助になればと思います。

町や議会に望むこと

議員さんにもぜひご参加いただき、ボランティアさんの気持ちや「ご縁食堂」に来られる様々な方の声を直接聴いていただけたらと思います。

議会だより クイズ



〈問題〉

今回、4時間にわたり議論をした議題は？

〇〇〇復興券

ヒントはP.3
熱い議論

正解者5名様にいいちゃん商品券進呈

(締切は8/31、発表は発送をもってかえさせていただきます)

応募要項

住所・氏名・年齢・解答とご意見などをご記入のうえ
ハガキ・FAX・いいちゃんポストで、飯島町
議会事務局 議会だよりクイズ係宛まで

発行責任者／議長 折山 誠 編集委員／◎片桐・○久保島・浜田・吉川・星野・堀内

あなたの声を議会だよりに ☎0265(86)3111 内線230 FAX.86-4395 E-mail: iijima-gikai@cek.ne.jp